

市内のインフルエンザが警報級レベル

◆アピールポイント

市内のインフルエンザ患者数が急激に増加しています。年末年始はさらに患者数が増加し、**警報レベル**（基準：1週間の新規患者数が、市内の1定点医療機関あたり30人以上。直近の第51週は23.76人）に達する恐れがあります。

感染対策として、換気、手洗い、手指消毒、咳エチケットなどを心がけ、人が多く集まる場所に行く際は、特に感染に注意しましょう。

年末年始は多くの医療機関が休診となるほか、救急当番医での対応になります。特に、夜間は受診できる医療機関が限られていますので、受診する必要がある場合は、できるだけ日中に受診してください。

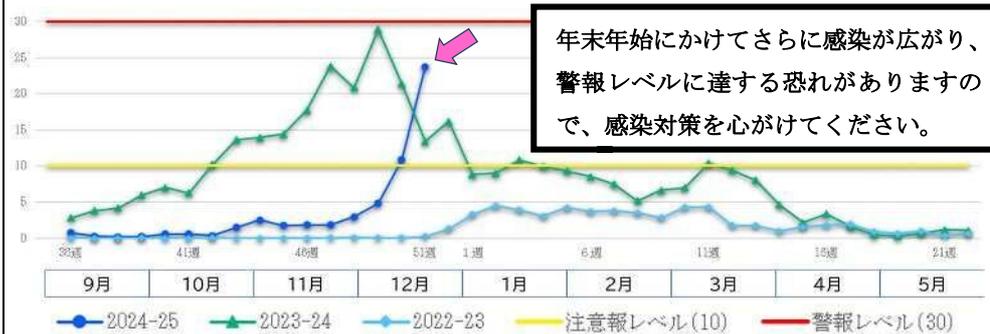
◆内容など

＜静岡市内のインフルエンザ感染状況＞

●市内のインフルエンザの定点医療機関あたりの状況
(令和6年12月25日時点)

	48週 (11/25 ~12/1)	49週 (12/2 ~12/8)	50週 (12/9 ~12/15)	51週 (12/16 ~12/22)
1 定点あたりの患者報告数 <small>(市内25の定点医療機関による調査)</small>	2.96人	4.80人	10.84人	23.76人

●定点医療機関からの患者報告数の推移



●インフルエンザ注意報レベル

基準値は、インフルエンザにおける1週間の新規患者数が、市内の1定点医療機関あたり10人以上です。今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある場合となります。

静岡市内は第50週から注意報レベルとなっています。

●インフルエンザの特徴

インフルエンザは、突然の高熱、頭痛、関節痛などの症状が現れま

す。普通の風邪と比べ全身症状が強く、気管支炎や肺炎、脳症などの合併症を引き起こし、重症化することがありますので、高齢者や乳幼児などは、特に注意が必要です。

<感染予防・対策>

- ・感染症予防は、日頃から個人での感染対策が重要です。
- ・人が多く集まる場所に行く際は、感染に注意しましょう。
- ・体調不良(発熱・咳・のどの痛み等)時に外出すると、更に症状が悪化するとともに、他人に感染させてしまう可能性がありますので注意しましょう。
- ・発熱等の症状がある場合は無理をせず休養するとともに、早めの医療機関の受診をお願いします。
- ・特に、夜間は受診できる医療機関が限られていますので、受診する必要がある場合は、できるだけ日中に受診してください。

●感染対策のポイント

- 1) こまめな手洗い・手指消毒をしましょう。
- 2) 換気を心掛けましょう。
- 3) 適度な湿度を保持しましょう。
- 4) 人混みでは、咳エチケットを励行しましょう。
- 5) 感染予防を心がけ栄養や休養をしっかりととり、体調を整えるようにしましょう。
- 6) 健康に配慮が必要な方やその身近にいる方は特に感染対策を心掛けてください。

<市内の感染症発生状況>

市ではインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの発生状況が分かるよう、定期的に動画によりホームページで発信しています。ぜひご覧ください。

●感染症発生動向調査

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2371/s003411.html>

●今週の感染症予報（動画）

https://www.tabeshizu.net/infection_countermeasures_division/

<（参考）静岡市内の新型コロナウイルス感染状況>

●市内の新型コロナウイルス感染症の定点医療機関あたりの状況
(令和6年12月25日時点)

	48週 (11/25 ~12/1)	49週 (12/2 ~12/8)	50週 (12/9 ~12/15)	51週 (12/16 ~12/22)
1 定点あたりの患者報告数 (市内25の定点医療機関による調査)	3.04人	3.48人	3.60人	5.20人
1週間あたりの市内の推計患者数(※)	614人	722人	752人	1,144人
1日あたりの市内の推計患者数(※)	87人	103人	107人	163人

(※)市内の定点医機関における患者報告数から、過去のデータ(第7波~第8波)を基に算出した市内の推計患者数

別紙資料 有 ・ 無

【問合せ】保健所感染症対策課

(葵区城東町 城東保健福祉エリア保健所棟2階)

担当 神邊、前島

電話 054-249-3172

別紙：令和6年12月16日から12月22日（第51週）における静岡市内のインフルエンザ流行状況（参考）

